

カナダ姉妹校派遣団帰国報告（H30. 4.）

刈谷北高校では、毎年3月下旬に刈谷市の姉妹都市であるミササガ市を生徒が訪問し、姉妹校であるスティーブン・ルイス校を始め、ミササガ市友好協会の皆さんや他の学校を訪問するなどして、現地の方々と交流を深めています。今年も、平成30年3月20日（火）～28日（水）の7泊9日の日程で、刈谷北高校を代表して合わせて10名の生徒がミササガ市を訪れました。

派遣団は現地の学校で授業に参加させてもらったり、英語で日本文化を紹介したりして、日本とカナダ、刈谷とミササガの架け橋としての役割を十分に果たし、充実した研修を終えて無事に帰国しました。現地での様子と、貴重な体験をした派遣生の感想を紹介します。

[現地での日程]

- 3月20日 ミササガ市着
- 3月21日 St. フランシス・ザビエル校訪問、ミササガ市友好協会との交流会
- 3月22日 グレーター・トロント・ランゲージ・スクール訪問、ミササガ市役所で地元の若者との交流会
- 3月23日 カリヤパーク見学、メープルシロップ作り体験、Language Meet Up との交流会
- 3月24日 ナイアガラの滝見学
- 3月25日 トロント市内研修、ミササガ市友好協会とお別れ会
- 3月26日 スティーブン・ルイス校訪問



雄大なナイアガラの滝。想像を超える迫力でした！



折り紙を現地の学校で紹介している様子。

[派遣生 感想]

初めての海外旅行で、行く前はわくわくする気持ちと不安の両方がありましたが、カナダに着いて見えた景色に圧倒され、不安は吹き飛んでしまいました。日本でもあまり見ることのない高層ビル群と空港から見えた綺麗な夜景は今でも目に焼き付いています。

カナダは本当に様々な国籍の方々が住んでいて、人々が話す英語のなまりや服装、食べ物など、町のあちこちで色々な国の文化を垣間見ることができました。

実際のカナダの学校の交流やショッピングモールでの買い物などを通して、生の英語を肌で感じられたのもとても新鮮でした。初めは、自分の話す英語を聞き取ってもらえるか不安で、おどおどした話し方でしたが、人と話す度に「次はこうしよう」と反省点を生かして積極的に話すようにし、次第に自分の英語に自信をもって話すことができるようになりました。

今回のカナダ派遣で、私は自信を持って何事にもチャレンジすることの大切さを改めて感じました。失敗したっていい、次はもっとできるようになろう、と努力する向上心、そして困った時には支え合うチームワークの強さ。今回学んだたくさんの事を、これからの自分に生かし、他の人と共有していきたいです。（3年生 矢尾板滉介）



現地では日本の文化を紹介する機会がたくさんあります。



スティープン・ルイス校（姉妹校）のパートナーの生徒とショッピングモールで買い物体験！